

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成28年2月12日
【四半期会計期間】	第87期第3四半期（自平成27年10月1日至平成27年12月31日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 池田 憲一
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

（注） はごろもフーズ株式会社東京支店は、事務所移転により平成27年5月7日から住所を変更しています。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第86期 第3四半期 連結累計期間	第87期 第3四半期 連結累計期間	第86期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高 (千円)	57,439,510	60,121,696	74,573,726
経常利益 (千円)	2,341,108	2,965,297	2,054,290
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,674,677	2,015,272	1,907,083
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,263,302	1,727,094	3,272,021
純資産額 (千円)	22,034,530	24,485,514	23,041,218
総資産額 (千円)	44,651,151	48,207,567	46,101,217
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	88.94	107.04	101.28
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.3	50.8	50.0

回次	第86期 第3四半期 連結会計期間	第87期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成26年10月1日 至平成26年12月31日	自平成27年10月1日 至平成27年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.12	41.62

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 4 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としています。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

平成27年3月期の有価証券報告書（平成27年6月26日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、テレビCM「シーチキン食堂」と連動した販売促進活動を継続したことで、売上高は601億21百万円（前年同期比4.7%増）と堅調に推移しました。主原料であるきはだ鮭・かつお価格が比較的安定して推移したため、売上原価率は64.2%と前年同期比0.5ポイント低下しました。

この結果、営業利益は27億38百万円（前年同期比27.9%増）、経常利益は29億65百万円（同26.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億15百万円（同20.3%増）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第3四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	24,357,105	42.4	26,347,009	43.8	1,989,903	8.2
		デザート	3,605,990	6.3	3,723,212	6.2	117,222	3.3
		パスタ&ソース	5,399,398	9.4	5,512,053	9.2	112,655	2.1
		総菜	5,253,812	9.1	5,539,791	9.2	285,978	5.4
		削りぶし・海苔・ふりかけ類	4,186,592	7.3	4,282,466	7.1	95,874	2.3
		ギフトセット・その他食品	3,086,245	5.4	3,032,035	5.0	54,209	1.8
		計	45,889,144	79.9	48,436,568	80.5	2,547,423	5.6
	業務用食品	9,808,544	17.1	9,972,627	16.6	164,082	1.7	
	ペットフード・バイオ他	1,314,105	2.3	1,292,771	2.2	21,333	1.6	
	計	57,011,795	99.3	59,701,968	99.3	2,690,172	4.7	
その他	427,714	0.7	419,727	0.7	7,986	1.9		
合計	57,439,510	100.0	60,121,696	100.0	2,682,185	4.7		

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、テレビCMと連動したメニュー提案活動などが奏功し、きはだ鮭製品・かつお製品が好調に推移し、売上高は前年同期比8.2%増加しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズやフルーツパウチなど個食ニーズにマッチした製品が堅調に推移し、売上高は同3.3%増加しました。

「パスタ&ソース」では、パスタの値上げが浸透し、売上高は同2.1%増加しました。

「総菜」では、「シャキッとコーン」は従来品に加えて小容量サイズの製品が大きく伸長しました。また、個食ニーズにマッチした健康パウチシリーズも好調に推移し、売上高は同5.4%増加しました。

「削りぶし・海苔・ふりかけ類」では、かつお削りぶし類が低調だったものの、噛み切りやすい海苔「かみきれ〜」やふりかけ類が堅調に推移し、売上高は同2.3%増加しました。

「ギフトセット・その他食品」では、取り扱い店舗が増加した包装米飯「パパッとライス」が好調に推移しましたが、ギフトセットが低調で、売上高は同1.8%減少しました。

「業務用食品」では、CVS・外食チェーン向けのスイートコーン等が堅調に推移し、売上高は同1.7%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、フィッシュミール等のバイオ製品が好調でしたが、輸入品から国産品にシフトしたペットフードの販売が減少し、売上高は同1.6%減少しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、134,329千円です。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年10月1日～ 平成27年12月31日	-	20,650,731	-	1,441,669	-	942,292

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年9月30日）にもとづく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成27年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 1,823,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 18,737,000	18,737	-
単元未満株式	普通株式 90,731	-	1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	-	-
総株主の議決権	-	18,737	-

【自己株式等】

平成27年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合（%）
（自己保有株式） はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区島崎町151	1,823,000	-	1,823,000	8.83
計	-	1,823,000	-	1,823,000	8.83

（注）第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,823,508株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,508,072	1,218,818
受取手形及び売掛金	15,851,161	18,497,286
商品及び製品	5,760,385	5,888,934
仕掛品	66,044	52,643
原材料及び貯蔵品	2,653,946	2,713,135
その他	2,408,898	2,474,186
貸倒引当金	5,877	13,598
流動資産合計	28,242,632	30,831,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,219,735	4,015,536
土地	3,549,245	3,549,245
その他(純額)	1,690,999	1,617,884
有形固定資産合計	9,459,980	9,182,666
無形固定資産		
投資その他の資産	401,798	396,939
投資有価証券	7,098,092	7,043,451
退職給付に係る資産	468,944	365,286
その他	442,761	402,492
貸倒引当金	12,991	14,676
投資その他の資産合計	7,996,806	7,796,554
固定資産合計	17,858,585	17,376,159
資産合計	46,101,217	48,207,567
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,213,932	12,786,163
1年内返済予定の長期借入金	280,000	280,000
未払金	4,670,625	2,565,577
未払法人税等	11,604	761,042
売上割戻引当金	27,274	234,021
販売促進引当金	1,973	1,556,400
賞与引当金	351,353	174,961
役員賞与引当金	38,100	-
その他	741,781	993,976
流動負債合計	18,336,644	19,352,143
固定負債		
長期借入金	2,630,000	2,420,000
役員退職慰労引当金	681,043	621,607
退職給付に係る負債	15,300	12,348
資産除去債務	17,000	17,000
その他	1,380,011	1,298,953
固定負債合計	4,723,355	4,369,909
負債合計	23,059,999	23,722,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	19,801,150	21,534,012
自己株式	2,154,908	2,155,295
株主資本合計	20,030,341	21,762,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,761,920	2,671,088
繰延ヘッジ損益	178,208	7,165
為替換算調整勘定	22,500	14,043
退職給付に係る調整累計額	48,247	44,733
その他の包括利益累計額合計	3,010,877	2,722,699
純資産合計	23,041,218	24,485,514
負債純資産合計	46,101,217	48,207,567

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	57,439,510	60,121,696
売上原価	37,166,888	38,619,832
売上総利益	20,272,621	21,501,863
販売費及び一般管理費	18,132,225	18,763,755
営業利益	2,140,396	2,738,107
営業外収益		
受取利息	102	59
受取配当金	117,592	115,264
持分法による投資利益	59,280	74,358
賃貸料収入	63,115	60,531
その他	43,361	62,029
営業外収益合計	283,451	312,242
営業外費用		
支払利息	25,827	23,348
賃貸収入原価	38,670	48,614
その他	18,241	13,089
営業外費用合計	82,740	85,052
経常利益	2,341,108	2,965,297
特別利益		
固定資産売却益	-	1,899
投資有価証券売却益	19	21
受取補償金	128,292	33,334
特別利益合計	128,312	35,255
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	1,685
固定資産除却損	47,067	38,238
投資有価証券評価損	-	960
たな卸資産廃棄損	-	9,065
特別損失合計	47,067	49,950
税金等調整前四半期純利益	2,422,352	2,950,601
法人税等	747,675	935,328
四半期純利益	1,674,677	2,015,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,674,677	2,015,272

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,674,677	2,015,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339,180	90,832
繰延ヘッジ損益	205,053	185,373
退職給付に係る調整額	1,807	8,640
持分法適用会社に対する持分相当額	46,198	3,330
その他の包括利益合計	588,625	288,178
四半期包括利益	2,263,302	1,727,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,263,302	1,727,094
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

受取補償金

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

缶詰製品「シーチキンマイルド」シリーズの一部自主回収にともない、当社仕入先との合意にもとづく逸失利益相当額を計上しています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社物流業務委託先において、平成27年5月に製品配送トラブルが発生し、当該トラブルに係る同委託先との合意にもとづく補償額を計上しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
減価償却費	572,194千円	624,921千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(1)平成26年6月26日の第85期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,228千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成26年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成26年6月27日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2)平成26年11月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,219千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成26年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成26年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(1)平成27年6月26日の第86期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,206千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成27年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成27年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2)平成27年11月11日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,204千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成27年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成27年12月4日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	88円94銭	107円04銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1,674,677	2,015,272
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	1,674,677	2,015,272
普通株式の期中平均株式数(株)	18,829,744	18,827,458

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【その他】

平成27年11月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 141,204千円

(ロ) 1株当たりの金額 7円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成27年12月4日

(注) 平成27年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いをしています。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 2月10日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 渡辺 篤
業務執行社員

代表社員 公認会計士 貴志 豊
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成27年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。